

# 戦乱から天下統一へ

—テーマ設定によって生徒たちの追究心を高める—

鹿児島県霧高市立隼人中学校 新福悦郎

## 1 はじめに

新しい学習指導要領においては、歴史的分野の「2 内容(1)歴史のとらえ方」で、「ア 我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりするなどの活動を通して、時代の区分やその移り変わりに気付かせ、歴史を学ぶ意欲を高める…」と記されている。本単元では、織田信長と豊臣秀吉という歴史上の人物が登場する。小学校でも人物学習として取り上げられており、生徒たちの事前知識や認識もあると思われるが、この二人を中学の授業の中でどのように「調べたり考えさせたりする」のかという課題がある。

本実践では、追究においてテーマ学習を活用する。

- 第1次「信長の最大の敵は何か」
- 第2次「秀吉の野望をどう考えるか」
- 第3次「安土桃山文化～信長秀吉の影響は?」

テーマを工夫活用することで、生徒たちの追究の意欲が高まってくる。たとえば、信長には戦国大名の敵もいれば、石山本願寺など的一向宗との対立もあった。最大の敵をランク付けする中で、学習内容に対する意欲が高まり、調べたり考えたりする学習も深まっていく。最後に意見交流ができれば、信長の人物像と歴史的事実を確認考察できるであろう。同時に歴史認識も深化できることになる。

## 2 授業の実際

### (1) 第1次「信長の最大の敵は何か」

信長と秀吉の人物像を見せて、それぞれの人物を確認する。天下統一を成し遂げた二人であるが、それぞれどのようなことをして天下を統一したのだろうかと投げかけ、第1次のテーマである「信長の最大の敵は何か」と板書する。天下統一を成し遂げた信長であるが、その最大の敵は何なのか、予想を立てさせる。

「戦国時代なのだから、戦国大名の中のだれかではないか」という声が多く出された。

そこで、教科書p.95の地図をじっくりと調べさせる。信長にほろぼされた大名として「朝倉義景」「武田勝頼」「今川義元」「浅井長政」



「中学生の歴史 初訂版」p.95④

を見つけさせ、「1560 桶狭間の戦い」「1567 美濃攻略」「1570 姉川の戦い」「1575 長篠の

戦い」「1582 田野の戦い」に注目させる。

生徒たちは、「最後に戦った戦国大名である武田勝頼ではないか」という意見や本文記述から「桶狭間でやぶった今川義元ではないか」という意見も出てきた。

ここで、「なぜ信長はこんなに強かったのだろうか」と問いかける。

「鉄砲を効果的に利用したからではないか」という発言が出てきた。そこで、教科書p.94の長篠合戦図屏風に注目させる。「火縄銃のうち方」のイラストも利用しながら鉄砲の効



「中学生の歴史 初訂版」p.94 ↑① ↓②

果的な利用をした戦いを理解させる。

先述した地図に再度注目させる。よく見ると、戦国大名だけではなく「1570～80石山戦争」「1571延暦寺焼き打ち」というのに気づく。「これは何だろうか」と問いかけ、教科書p.94本文を読ませる。生徒たちは、信長が「各地の一向一揆を10年間に及ぶ激しい戦いの末に平定し、その根拠地である石山本願寺（大阪府）を降伏させた」ことに気づく。教科書資料p.95の「一向一揆の旗」に注目させる。ここで長島の一向一揆や越前の一向一揆の戦いの具体的な様子の資料を示したい。



信長は一向一揆に対して、女・子どもまでも許さず、徹底した残酷な対応をとった。やがて生徒たちの中には、最大の敵は一向宗ではないかと考え始めるものも出てくる。

最後に、信長の最期は本能寺の変で自殺に追いこまれたことを説明し、「信長の最大の敵」について自分の考えをノートに書いてまとめとする。時間があれば、その考えを発表させて、意見交流を行いたい。



「中学生の歴史 初訂版」p.95⑨

## （2）第2次「秀吉の野望をどう考えるか」

秀吉の人物像について、知っていることを発表してもらおう。さまざまなエピソードがあるので、生徒たちは秀吉についてかなりの事前知識がある。

「秀吉はどんなことをしたのだろうか」と問いかける。教科書p.96～97でその政策について調べさせる。「刀狩令、太閤検地、宣教師の海外追放、そして朝鮮侵略」についての記述と説明から、生徒たちは政策について簡単にまとめ、発表することができた。



「中学生の歴史 初訂版」p.96②

次に「秀吉の野望」についてそれぞれ学んでいく。「刀狩令と太閤検地」については、教

科書p.96の「検地のようす」から気づいたことを発表させる。

「検地尺はどのように利用されたのか」と発問し、絵画資料から読み取らせる。検地尺については、教科書p.96の検地尺を見せ、この検地尺がどこに所蔵されているのか注目させた。地元鹿児島市の尚古集成館にこの検地尺が展示されており、石田三成の署判を説明し、薩摩でも太閤検地が実施されたことを説明し、興味を喚起した。

「刀狩令と太閤検地」については兵農分離をめざしていたことを説明し、土一揆を防ぐためのものでもあったことを説明する。

次に「宣教師の海外追放」については、貿易の利益追求の一方で長崎が教会領になったことをおそれてのものであったことを簡単に説明する。

「天下統一を成し遂げたということは秀吉は鹿児島にも攻めてきたのか」と問いかけ、島津を討つために川内まで兵を率いてきたこと、島津は降伏したことなどを説明する。

次に「朝鮮侵略」について島津も参戦したのかと問いかける。島津の名前のある朝鮮侵略の地図を見せて、島津が2回にわたって参



「中学生の歴史 初訂版」p.96①



「中学生の歴史 初訂版」p.97⑥

戦したことを気づかせる。教科書p.97で朝鮮侵略の資料を見せる。亀甲船のようすに注目させ、イラストの少年の疑問である「朝鮮軍はどうしてこのような軍艦をつくったのかな」の問いを考えさせる。李瞬臣が今でも韓国で歴史上の英雄であることを紹介し（韓国の釜山やソウルに立つ像を写真で紹介すると



「中学生の歴史 初訂版」p.97⑦

さらによい)、耳塚の写真とその解説を読ませ、最後は教科書p.97本文を読ませて、いかに朝鮮の人たちがこの侵略によって苦しんだかを確認する。

最後に、秀吉の野望としての政策について、生徒たちを数名指名し、その考えを発表させてまとめとする。

### (3) 第3次「安土桃山文化～信長と秀吉の影響は？」

ここでは安土桃山文化に信長と秀吉がどのような影響を与えているかを追究することで、この文化の特色を理解させようと考えた。

初めにタイトルのテーマを示し、教科書掲載の絵画や資料に注目させる。4人ほどのグループに分かれて話し合いのうへ、気づいた



「中学生の歴史 初訂版」 p.98①

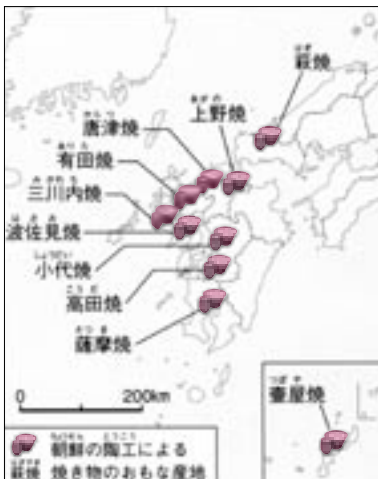
ことを発表させる。

「信長の影響は、安土城のような雄大な天守閣を築いたところだ」



「中学生の歴史 初訂版」 p.98④

「ふすまや屏風には狩野永徳らが描いた作品がある。これは城の中なので、これも影響していると思う」



「中学生の歴史 初訂版」 p.99⑩

「朝鮮半島から伝わった茶碗は、秀吉の朝鮮侵略のときに連れてこられた陶工たちがつくった」

「茶の湯では千利休がいる。信長と秀吉に茶頭として仕えた」

以上のような生徒の発表をもとに、具体的に教師とともに検証していく。当然、信長や秀吉と直接関係があるとは思えないものもあり（たとえば庶民が楽しんだ浄瑠璃や歌舞伎踊り）、それらについても説明する。

朝鮮陶工については地図をもとに地域教材と関連づけたい。筆者の住む鹿児島県には薩摩焼の産地がある。日置市の産地には朝鮮名の墓地もあり、教科書掲載資料「朝鮮人陶工の



「中学生の歴史 初訂版」 p.99⑨

李三平をまつる陶山神社」と関連づけて紹介できれば、歴史をぐっと身近に感じることであろう。

### 3 まとめ

導入においてテーマを明示し設定することで、生徒たちはその視点から歴史的人物が成し遂げた歴史的事実を考えていく。漠然とその政策を学ぶよりも、歴史的事実を知識として受けとめるだけでなく、その事実を考えていく生徒たちのようすが明らかに見られる。さらに、授業で考えたことを学級で意見交流したり、「社会科通信」で意見を紹介したりできれば、さらに高まりのある授業実践になることであろう。